



リベラルアーツ教育の真価が問われている

広島女学院 院長・学長 三谷 高康

少し前になりますが、ハーバード大学の学長だったデレック・ボクが在職中に情熱を注いだ課題がありました。それは大学教育における倫理教育の確立でした。彼は著書「University and the future of America」のなかで次のように語っています。

アメリカの大学は、おそらく全世界の最高水準の研究と教育を実施している。一年間で世界中から年間約80万人の留学生がアメリカへ入国し、研究や勉学に励んでいる。それは、研究や科学技術においてアメリカの大学は世界の最高のレベルにあるからだ。ところがそのような立派な高等教育機関を持つアメリカが、なぜ国内では暴力が蔓延し、家庭が崩壊し、学校教育は低下し続けているのか。これらの諸問題は究極的には政府、企業、医療、学校等で働く個人個人の価値観に関わる問題である。取り分け、指導者の立場の人々の価値観が決定的に重要となる。それに対して大学はいかなる貢献をしてきたのか。市民としての責任感、倫理的な自覚、他者への関心といった意識を教育することに真剣だったろうか。実利的な教育に偏る大学教育は果たして正しいのか。そうボクは説いたのでした。

まさにこの課題を克服するのがリベラルアーツ教育です。リベラルアーツとは間口は広いが奥行きが浅い教育ではありません。専門知識もしっかりと習得し、同時に複眼的な視野でその専門性を自己検証できる能力を育む教育です。専門知識を教えることのみ偏るとマックス・ウエーバーが言うように、「精神なき専門家」となり、営利を追求しても不正を思いとどまる倫理観を持たない人物となります。一方で、専門知識に欠けていると「心情なき享楽人」になってしまい、その道を究めることが出来なくなってしまう。

時代の急速な変化で、最先端の専門知識の賞味期限は極めて短くなりました。加えて、コロナ禍で私達は予測が出来ないグローバル社会の趨勢に直面しました。ですから、変化に対して柔軟に対応するために学び続ける知性を持つ女性を醸成することも急務です。

更に、社会の良識をリードする存在として、ボクが提言したように、いかなる時も高い倫理観に立った見識ある女性を育てることもリベラルアーツ教育の重要な使命です。真理に対する敬虔な姿勢を教え、忍耐、正直、誠実さ、想像力、冷静な思考、人に共鳴する能力、未知なるものにおける謙虚さ、精神的なものに価値を見出すセンス、そして、何よりも神に対する敬虔さ、こうした「徳」を生み出す教育も担わなければなりません。

こうした教育は大学のみに限ったことではありません。幼児期や多感な思春期においても自分の人生に自信を持ち、他者に対して寛容的な心を育てることは大切なことです。

広島女学院のキリスト教主義教育に立った人間教育は、幼稚園から中高校、大学と多様な教育課程を持つ学院ならこそできる業です。

これから広島女学院の院長として、また学長として、この教育の深化に努めていきたく思っています。



2021年4月1日 就任式の式辞



2021年4月1日 院長・学長就任式

広島女学院の「ぶれない個・私」の育成に期待

広島女学院 前院長・学長

湊 晶子

どなたも存じ上げない広島に八十歳を過ぎて単身赴任し夢中で激務のなかを駆け抜け、気がついたら7年が過ぎていました。次々に直面する諸問題との対応に、教職員が一丸となって助けてくださったことに心から感謝いたしません。心が萎えそうになった時に、原爆投下時の本学理事長・院長松本卓夫先生の言葉「多くの人々は広島女学院はもはやこれでおしまいである。再起復興は到底期待できないと言った。私はいささかも女学院の将来について疑念を抱かなかった。信仰と祈りにより、キリストの名において創立された女学院は滅びることはあり得ない。」によって、立ち上がることができました。

少子化の影響で女子教育機関が次々に共学化される中で、若き日に女子大学で学んだからこそ、「自分を律する厳しさ、リーダーシップ、孤独に克つ力、判断力、決断力」が身についた経験から、今も女子大学は存在しなければならぬと痛感いたします。7年間の院長学長時代に、本学の「キリスト教に立脚した人格教育を、「ぶれない個」の確立」というわかりやすい表現に置き換えて浸透させてきました。「もしもあなたがそうおっしゃるなら、私は」と言うように、一人称が後から出て来るようでは国際社会で太刀打ちできません。「私はこう思う」と堂々と一人称で発言できる人物「ぶれない個」の育成が日本に於いては急務です。このような女性は女性だけのキャンパスでこそ育成されると思っています。私たちは、もう一度この原点に立ち返り、日本における女子教育を立て直す必要に迫られています。

このような時に信仰に固く立ち学長も経験しておられる三谷高康新院長・学長を本学にお迎えできましたことは大きな恵です。日本の「ジェンダーギャップ指数2021」が156か国中120位と言う状況を脱却するために、「経験豊かな三谷新学長の女子教育への新風」に期待しています。どうぞよろしくお願い致します。

湊晶子前院長・学長への感謝の言葉

広島女学院 理事長

中川日出男

湊前学長は、2014年4月から2期7年間にわたって、本学学長を務められました。また、この間2014年12月からは院長も兼務されました。

湊学長の就任当初、大学は大幅な定員割れが続く中で、維持会の使途不明金問題が発生し、本学は二重の苦しみを味わっていた時期でした。私は、湊学長就任の翌年の2015年6月から理事長に就任し、湊学長と共にこれらの問題に当たってきました。

湊学長は早速定員割れの根本原因となっていた国際教養学部を解体し、大学全体の規模は少し縮小しながらも、新しく人文学部、人間生活学部の2学部5学科に改組再編され、大学の再生を図られました。改組初年度は大幅な定員増でスタートができました。また、教育内容面では、本学の建学の精神の根幹である「リベラル・アーツ教育」の大切さを重視され、一貫して「ぶれない個」としての女子の人格教育に尽力されました。このような活躍は県内の教育界からも評価され、2016年12月に第25回ベストロッチャー教育賞を受賞されました。

また、湊学長は経済界との交流も図られ、2017年9月には広島経済同友会と本学間での包括的連携協力に関する協定を締結されました。湊学長の活躍は各界に知れ渡り、講演依頼が殺到しました。このようなことから、2020年11月には、文化の向上に大きく貢献した中国地方ゆかりの個人、団体に贈られる中国文化賞を受賞されました。

この度、湊学長が本学を去られますが、私としては6年間改革を共にした同志を失う気持ちです。

東京に帰られましたも、いつまでも元気で、また本学に対する熱い思いを忘れず、引き続き、ご指導、ご支援をお願いいたします。

7年間の長きにわたり、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

湊先生への感謝の言葉

広島女学院大学 副学長

村上 和保

湊晶子先生が本学の学長を務められた2014年度からの7年間にわたりお側で一緒に仕事をされる立場にあった者としてメッセージを書かせていただきます。先生が学長に就任された当時、大学では維持会の経理問題、入学者定員割れなど、多くの難題を抱えていました。同時期に学部長を拝命した私は、内心、大変な時に役職が巡ってきたものと陰鬱な気持ちで新年度が始まった記憶があります。しかし、その時先生から、「広島女学院に私が必要だから天が遣わしたと信じて職務にあたる。私の残りの人生の全てを捧げるつもりで広島にやって来た。」との言葉を聞いて、どれだけ勇気づけられたかわかりません。

就任早々、文科省や私大連への折衝で自ら東奔西走され、本学の危機を食い止めました。一方で、学校教育法改正に伴う学長ガバナンスを受け、大学の組織整備のため、学長室会議、全学人事委員会を創設し、さらに学部教授会を全学教授会に変え、教員組織における意思決定や連絡の体制を大きく改善しました。2018年度には改組を断行し、懸案であった大学基準協会の大学評価で無事認証を得ることができました。学内諸行事にも精力的に関われ、特にオープンキャンパスで学長と対面懇談する企画「サロン・ド・ミナト」では、人が絶えることなくいつも盛況でした。

学外に目を転じれば、国連ユニタール理事、ワールドビジョンジャパン理事、広島経済同友会会員など多方面で活躍され、それらの功績が称えられてベストロッチャー教育賞、中国文化賞を受賞されました。この間、病と闘い、大きな怪我也も経験し、まさに満身創痍になりながらの活躍なので、本当に頭が下がります。先生との思い出は尽きませんが、何よりも本学のライフキャリア教育の柱である「ぶれない個」という理念を自らの生き様を通して教示いただいたことが、私たちの最高の財産になったと思います。湊先生、本当にありがとうございました。

退職者のご紹介

昨年度は、次の方々がご退職されました。さまざまなお立場で、本学院のためにご尽力くださったこととに心より感謝いたします。

どこにおられても、いつまでも広島女学院の応援団として、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたしますとともに、お健やかに過ごされますようお願いいたします。ありがとうございました。

(順不同・敬称略)

○お名前
・職名等
・勤続年数

○中田 美喜子

・大学人文学部
・人間生活学部
・共通教育部門教授
・14年7か月

○佐藤 木綿子

・大学事務局次長
・秘書・広報課長
・38年

○牟 正愛

○野村 希代子
・大学人間生活学部
・管理栄養学科
・専任講師
・9年7か月

・大学キャリアセンター
・キャリア支援課主任
・23年

○大北 和幸

・内部監査室長
・7年

○吉田 絵理子

・中高教諭(国語)
・38年

○加藤 佳輝

・法人事務局財務課長
・大学事務局会計課長
・4年9か月

○小山 優子

・中高養護教諭
・23年

○杉田 真以

・大学人間生活学部
・管理栄養学科
・実験実習助手
・4年6か月

○里田 幸子

・中高教諭(英語)
・10年

新任者のご紹介



左から順に(敬称略)

- 1列目) 海田事務局長、高田園長、中川理事長、三谷院長・学長、渡辺校長
2列目) 角田、佐藤、佐々木、吉廻、古重主事
3列目) 澤村大学宗教委員長、倉掛、和田、コール、羽座、白濱

今年度は、新たに次の10人の教職員の方々をお迎えし、桜の花びらの舞う中、新任式を執り行いました。簡単ではございますが、氏名と所属・職名をご紹介します。(順不同・敬称略)

○お名前 (読み方) 所属・職名

○海田 智浩

(かいた)ともひろ
法人事務局長
大学事務局長
歴史資料館館長

○倉掛 崇

(くらかけ)たかし
大学共通教育部門准教授

○吉廻 悠

(よしぎわ)ゆう
大学人間生活学部
専任講師

○Cole Benjamin

(コール・ベンジャミン)
中高常勤講師(英語)

○白濱 翔太

(しらはま)しょうた
中高常勤講師(国語)

○佐藤 純子

(さとう)じゆんこ
中高常勤嘱託教員(理科)

○羽座 健太

(はざ)けんた
中高常勤嘱託教員(理科)

○角田 萌花

(すみだ)ほのか
中高常勤嘱託教員(養護)

○和田 敏也

(わた)としなり
法人事務局財務課長
大学事務局会計課長

○佐々木直美

(ささき)なおみ
大学人間生活学部
実験実習担当

2021年度役職者紹介

- 理事長 中川日出男
院長・学長 三谷 高康
中学高等学校校長 渡辺 信一
幼稚園長 高田 憲治
法人事務局長兼大学事務局長 海田 智浩
管理栄養学科長 市川 知美
児童教育学科長 森保 尚美
共通教育部門長 下岡 里英
言語文化研究科長 波多野五三
人間生活学研究科長 三木 幹子
大学 副学長 村上 和保
文学部部長 渡邊ゆかり
国際英語学科長 磯部祐実子
日本文化学科長 足立 直子
人間生活学部長 山下 京子
生活デザイン学科長 小林 文香
法人 歴史資料館長 海田 智浩
幼稚園主事 古重 歌織

「女学院のこころ」を知る小冊子

広島女学院が創立されて以来130年史まで出版されました。膨大な量の記念誌の中に、キリスト教理念を語り通すことが最も大変な時期にあった戦時下の状況があまり書かれていないことに気付き、歴史資料館で資料を収集し、50頁の小冊子「広島女学院の土台を据えた先達から」現代を生きる私達へのメッセージ



著 湊 晶子

大学

University

2020年度

卒業証書・学位授与式

3月13日(土)に2020年度卒業証書・学位授与式が新型コロナウイルス感染症対策のもと執り行われました。

2020年度をもちましてご退官となられる湊晶子学長は式辞において、フイリビの信徒への手紙第4章13節「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能だ。」の聖句を読まれ、本学で学んだ「ぶれない個性・人格」を人生の土台に、自分の考えを伝えながら、いかなる苦難があろうと乗り越えらるる女性になつてほしいと、湊学長の半生に触れながら力強いメッセージをくださいました。

広島女学院の建学の精神に立脚した校歌に送られて、286名の卒業生は、それぞれ新たな道へと歩んでいかれました。

(広島女学院報委員)

土谷 佳弘



2021年度 入学式

4月5日(月)に大学院ならびに大学の入学式が、オンライン配信を併用し、新型コロナウイルス感染症対策のもと執り行われました。

2021年度から広島女学院大学にご就任なされた三谷高康学長は式辞において、未成年と大人の違いについて、哲学者イマヌエル・カントの言葉に触れながら、自分で考え、責任を持つて語ることができる真の大人に育つてほしいと述べられました。

新入生は新しい学び舎で、本学の学生であるという自覚と責任を持ち、初代学長ナニ・B・ゲーンズ先生の「建学の精神」を受け継ぎながら、真の大人へと歩んでいくこととなります。

(広島女学院報委員)

土谷 佳弘



2020年度 入学式

2021年3月30日、一年間の辛抱を強いられた2020年度新入生たちのための入学式が、ようやく執り行われました。満開の桜と晴天は、そこに集った者、離れて見守る者すべての心を代弁してくれているかのようでした。コロナ感染状況の落ち着きを見計らって急な実施となったため、来ることができなかった学生には申し訳ないことでしたが、YouTubeを紹介しての配信も行いました。「二人でも来られる学生がいれば行いたい」と深い愛を示してくださった湊晶子前院長・学長の、本学キャンパスでの最後のお働きとなりました。先生への尽きない感謝には紙面すべてを費やしても字数が足りないことでしょう。

(大学宗教委員長)

澤村 雅史



三樹正典教授の襖絵 NHKBSプレミアム「美の壺」で紹介

児童教育学科三樹正典教授の襖絵がNHKBSプレミアム「美の壺」不朽のデザイン市松模様」で紹介されました。「2020年11月27日(金)午後7:30」放送。三樹教授は2012年より数々の名庭を残した昭和を代表する作家、重森三玲氏が手がけたと言われる個人邸(桜下亭)の改修に関わったことを機に市松模様を基盤とした襖絵や掛け軸、屏風の作品を制作。大徳寺(京都)浄土寺(尾道)など日本各地の寺社の本堂や茶室で発表を続けています。

今回の放送で取り上げられた作品は、安芸郡海田町の旧千葉家住居の12枚の襖に市松模様を光に見立て、千葉家の庭にそびえ立つ一本の山桜の花弁が部屋に吹き込む一瞬の風景を描いた作品です。作品は現在も定期的に公開されています。今後Eテレで再放送される予定です。

(児童教育学科長)

編集 森保 尚美



海田町旧千葉家住居襖絵

インテリアプランニングコンペ2020 日本フリーランスインテリアコーディネーター協会 会長賞受賞

生活デザイン学科では、学生の学内外のデザインコンペへの参加を奨励しており、これまで複数のデザインコンペで受賞を重ねています。今年度は日本インテリアプランナー協会が主催する「インテリアプランニングコンペ2020」で、建築士課程3年の升田雛乃さん、松岡未紗さんの作品「対人恐怖症の子供のための空間」が日本フリーランスインテリアコーディネーター協会 会長賞を受賞しました。隔年開催のインテリアプランニングコンペでは2016年度の入選、2018年度の優秀賞受賞に続く受賞です。今年度の募集テーマは「ひろがるインテリア」で、427点の応募作品から45点が一次審査を通過し、有明テニスの森駅のスモールワールズTOKYOでの展示、各専門分野の団体代表や特別審査員による最終審査、ライブ配信によるプレゼンテーションを経て、受賞作品が選ばれました。



受賞作品「対人恐怖症の子供のための空間」

今年度はインテリアプランニングコンペ以外にも、6つの建築設計コンペ、「西條鶴新酒ラベルデザインコンペ」(2年生 久保田紗羅さんの作品採用)、広島市東区「エキキタスイーツスタンプラリー」ポスターイラストコンペ(3年生 門田香澄さん、面迫奈那さんの作品採用)などに、多くの学生が参加しました。来年度も引き続き、実践的なデザインを学ぶ機会として、学生たちのデザインコンペ参加を支援していきます。

(生活デザイン学科長)

小林 文香



受賞した松岡未紗さんと升田雛乃さん(左から)

中学・高校

Junior high school & High school

原点に立ち返って

中学高等学校が広島女学院たるものとして大切にしているものは、キリスト教主義教育です。前院長湊先生は、何

度も私たちに次のお話されました。「人の間でぶれながら、自分の考えること、自分の意思を決められないのでなく、自分はいこう思うと言えぶれない軸を立てる。キリスト教教育とは、その軸を聖書から学ぶことです。」この「ぶれない軸」という言葉は、教師生徒学校全体でとても大切なものとなっています。

教育の場は、グローバル化、デジタル化など今までは違うより多くのものを子どもにも要求しています。だからこそ、原点に立ち返って歩んでいきます。

(中学高等学校 校長 渡辺 信一)

高校卒業礼拝

3月1日に、第73回生 高等学校卒業礼拝がゲーンズホールにて行われました。昨年同様、在校生の出席を取りやめ、時間も短縮しました。制限されたなかでも、それぞれの新しいステージへ臨む230名の卒業生、その姿を見守る保護者、教職員、ホールに集うすべての者が思いをひとつにあわせ、荘厳な中にも心温まる礼拝の時間を持つことができました。

卒業生代表として、角田瑞希さんが多くの印象的なエピソードを紹介しつつ、授業や礼拝等で出会った多くの人々、様々なものの見方を通して成長したこと、吹奏楽部の活動を通じて培った友情と時間をかけてひとつの作品をみんなで造り上げることの喜びを語ってくれました。

高3生は4月からは同窓生となり、日本各地、世界に散らばっていきます。新たな環境にあっても神さまの顧みと祝福が豊かにありますように。

(高校教頭 高見 知伸)



高2沖縄修学旅行

3月15日〜18日の4日間、高校2年生は沖縄修学旅行に行きました。

前半は平和学習を中心に行いました。1日目は地域ガイド「風の会」比嘉涼子さんの、熱いお話を聞き、2日目は沖縄尚学高校との交流会や平和公園・対馬丸記念館など、6つのコースに分かれ学習をしました。後半は沖縄の文化や自然を体験しました。美ら海水族館や、マリンスイーツ作りなどを通して、全身を使って沖縄を体験し、楽しめました。

沖縄の方々には、これまでも大変温かく対応していただきましたが、コロナの影響下の今回の旅行では、また格別の喜びで私達を迎えてくださいました。報道関係の取材も多く、どこに行っても「来てくれてありがとう」の言葉とともに熱心なお話を聞くことができ、生徒達の心に深く刻まれる体験となりました。この旅行を支えてくださった全ての皆様に感謝します。

(高2学年旅行係 坂井隆司)



中3長崎研修旅行(3月24日〜25日)

今年度の研修旅行は1泊2日に短縮して実施しました。満開の桜の中1日目は長崎市内で平和学習を行いました。当時の写真や映像を見ながら語り部さんの被爆体験を聴き、原爆資料館と原爆死没者追悼平和記念館を見学しました。実際に現地で見聞きすることで、当時の惨状を数値だけで知るのではなく、そこにあった日常を奪った原子爆弾がいかに恐ろしいものであるかを改めて痛感しました。また、被害の面だけでなく加害の面も知り、平和構築の難しさを考える時間にもなりました。平和セレモニーでは二度と争いを起こしてはならないという意思と未来に語り継いでいくべき使命を持ち行動していく努力を誓いました。2日目はハウスステンボスで楽しい時間を過ごしました。ヨーロッパの美しい街並みと色鮮やかなチューリップに前日の疲れも吹き飛び楽しむ姿が見られました。この一年多くの行事が中止になりましたが最後にこの研修旅行でたくさん学びと発見があり、とても良い思い出になりました。

(中3研修旅行係 中元 深雪)

九州研修旅行 (Global Issues 高3選択生)

Global Issues 選択生は、例年春休みに実施しているハワイ研修旅行に代わり、九州研修旅行(鹿児島県知覧市、熊本県水俣市など)へ行ってきました。ヒロシマと同じく悲しみの記憶を抱える場所を訪れ、たくさんの方のこころを感じ取って帰ってきた生徒たちの感想の一部をご紹介します。

「往って参ります」と飛び立つ特攻兵。その多くはまだ青春真っ盛りの学生だった。将来やりたいこと、かなえない夢があったらどう。そんな若者たちの「ただいま帰りました」という言葉は二度と聞けない。忌まわしいほど明るく光る火花と共に、これからもっと輝くはずだった命が散ってしまふ。ただ一つ残るものはその若者たちが書いた遺書だけ。その遺書を読む残された家族。いくら泣いても本人は帰ってこない。こんなにもつらく悲しいものはないと感じ、胸が締めつけられ涙が止まらなかった。同時に、目の前の命、そしてその命に繋がる人のことを考えない戦争を憎く感じ、「命の尊さ」について改めて考えさせられた。

(松本 貴枝)

(グローバル教育推進部部長 野中 理恵)



中学入学礼拝

4月7日、桜の樹々が初々しい若葉によって新緑に覆われた中、204名の新入生を迎え、入学礼拝を行いました。

渡辺信一校長からは「挑戦をしよう」「さまざまなこと」に感動をしよう」と新入生に向けてお話があり、今年度、就任された三谷隆康院長からもメッセージをいただきました。

パイプオルガンの調べを聞き、讃美歌、校歌ともに歌いました。厳かな雰囲気でのスタートとなりました。

(中学教頭 渡部 新)

幼稚園

ぶれない軸

「キリスト教保育」

少子化の波が最初に押し寄せる幼稚園。その波は、9年後に中学へ、大学には15年後に到達します。交通の不便な山の上の園は、定員に満たない時期もありました。その状況下で取組んだのは、子育て支援、バス路線拡大、そして自然活動の充実でした。

保育コンテンツの拡充により、多くの子どもと家庭との繋がりがもたらされました。しかし拡大路線は、聖書の言葉、建学の精神からの逸脱の可能性もはらんでいました。

2014年度キリスト教保育連盟夏期講習会において、湊晶子前院長より「平和を創り出す」というテーマで賜った基調講演により、見失いかけていた縦軸を再確認することができました。「キリスト教保育」というぶれない軸を具体化する保育実践を、丁寧に継続していきたいと願っています。

今年度、200名の子どもたちとの出会いが与えられました。感謝です。

(幼稚園長 高田 憲治)

LOVE&PEACE WEEK

毎年2月に行っているLOVE&PEACEコンサートですが、今年はコンサートという形ではなく、愛と平和について子どもたちと一緒に考えながら表現する期間を過ごしました。劇をしたり、絵を描いたり、違う学年の友だちと一緒に歌ったりと、それぞれの子どものLOVE&PEACEが幼稚園に溢れる時となりました。

(幼稚園 河南 玲奈)

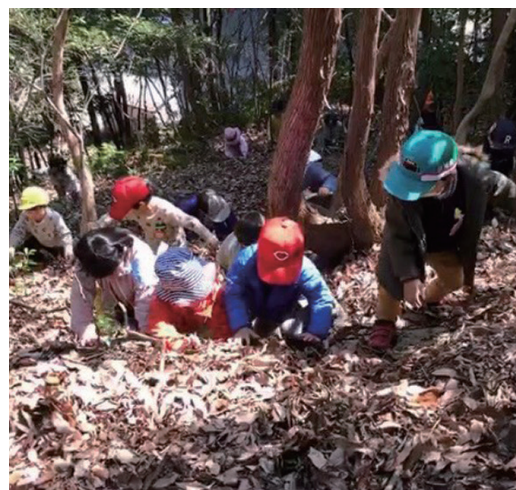


みんなでいっしょにあそべるってうれしいね

第59回 卒園礼拝

3月18日春の温かい陽ざしに包まれ、卒園礼拝を執り行いました。行事等、制約の多い1年でしたが子どもたちと共に生活をつくり出す事を大切に歩んで参りました。クラスごと分散形式での礼拝でしたが、学年の仲間の事を互いに思い迎えた新たなスタートの時。これからも、いつも神様が共にあって下さることをお祈りしています。

(幼稚園 古重 歌織)



助け合って前にすすむ子どもたち

ぼうけんの森

子どもたちの大事な遊びの場、幼稚園隣接の「ぼうけんの森」。秋頃から下草を刈り、以前より見通し良く温かな光に包まれた場所が広がりました。子どもたちは落ちていた木を楽器に見立てて演奏したり、急な斜面を滑り台のようにお尻で滑ったりなど森の中でも豊かな発想を持って遊びを展開し、様々な活動を楽しんでいます。

(幼稚園 島 有里咲)

新学期スタート

園庭にチューリップの花が咲き誇る4月12日、第60回創立130周年(入園礼拝)を守ることができました。新入園児を迎え、誰もが喜びに溢れ目を輝かせています。今年度も神様に守られてたくさんの愛を感じながら一人ひとりの園生活が豊かなものとなりますように。

(幼稚園 久保木裕子)



イースター

イエス・キリストの復活をお祝いするイースター。3学期には毎年園独自にイースターの日を設定しそれぞれのクラスで礼拝を守っています。保育室では新聞紙などを用いて思い思いの卵を作り、卵探しを楽しみました。復活の象徴の一つであるイースターエッグを持ち帰り、この嬉しい日をみんなで喜び合いました。

(幼稚園 古本 紗也)



礼拝を守る子どもたち

法人 Corporation

会議報告

第188回理事会

2021年1月29日14時から開催。

【選任事項】

次期幼稚園主事を選任。

【報告事項】

学事報告。

第189回理事会

2021年2月26日14時から開催。

【選任事項】

法人・大学事務局長を選任。

【審議事項】

広島女学院顧問規程、管理者給与規程の改正について決定。また、寄附行為の変更についての意見聴取を行い、評議員会諮問を決定。

【報告事項】

学事報告、2020年度決算見込み、広島女学院大学名誉教授称号授与規程の改正を報告。湊院長・学長より、退任にあたり院長・学長としてのこれまでの取り組みについて報告。

3月定期評議員会

2021年3月24日14時から開催。

【選任事項】

任期満了及び辞任により欠員となる第4号評議員について選任。

【諮問事項】

2020年度事業報告(概要版)及び2021年度事業計画について承認。

2021年度予算案、寄附行為変更及び事務組織規程改正について了承。

【報告事項】

学事報告及び湊院長学長より、退任にあたり院長・学長としてのこれまでの取り組みについて報告。

第190回理事会

2021年3月26日14時から開催。

【選任事項】

任期満了となる3号理事及び4号理事、財務理事、広島女学院顧問の選任。

【審議事項】

2020年度事業報告概要(版)及び2021年度事業計画案、2021年度予算案、寄附行為、大学学則、中高等学校、幼稚園則、事務組織規程、育児休業等に関する規程及び給与規程の改正、管理者の基本給、役員賠償責任保険の契約について決定。

【報告事項】

学事報告及び退職者、新規採用者及び再契約者について報告。

表彰

永年勤続者

30年勤続者

- 桐木 建始
入江 直子

20年勤続者

- 渡辺 信一
住田 葉子

人事

()内は任期

理事

- 辻 学
星野 晴夫
佐々木麻樹

- 向井 希夫
細田 信行

評議員

- 松木田 博
(2021.4.1~2024.3.31)

- 西嶋 佳弘
(2021.4.1~2022.3.31)

- 顧問
湊 晶子
松尾 信孝
(2021.4.1~2024.3.31)

幼稚園主事

- 古重 歌織
(2021.4.1~2023.3.31)

法人・大学事務局長

- 海田 智浩
(2021.4.1~2027.3.31)

任用替え

- 大学特任准教授→大学准教授
塚野 路哉
(大学教授→大学特任教授)
佐藤 茂樹
小野 育雄
桐木 建始
植西 浩一

中高常勤講師→中高教諭

- 坂井 隆司(国語)
和田絵莉子(養護)

歴史資料館だより(32)

昨年度の来館者数は表の通りです。オープンキャンパスが予約制縮小、中止した回もあり、また、大学は入校制限、前期の授業は遠隔授業となったことが影響しています。一昨年度は全体で1114名でした。

『中国新聞』の記事「パルチコフ一家被爆前の日常」「明子さんのピアノ」に資料の提供をしました。その際、パルチコフ先生の孫のアントニー・ドレイゴ氏所有の写真に、本学オーケストラを結成したパルチコフ先生と明子さ

んが一緒に映っている写真を見つけました。また、明治時代の卒業生、神川マツ氏の資料について問い合わせがありました。『百年史』(140頁)に、広島県が生んだ明治社会主義者で、婦人解放運動や労働運動で活躍したと記されています。遅くなりましたが、



歴史資料館来館者統計表 (2020.3.1~2021.2.28)

Table with 6 columns: 月, 学生・生徒, 教職員, 卒業生, 一般, 計. Rows include monthly data and a total row.

『二三〇年史』を3月に刊行致しました。(歴史資料館長 海田 智浩)

幼稚園任期付教員A→幼稚園専任教諭

坪山菜津子

教職員動静

召天 瀬戸山幸枝(名誉教授) 2021.1.23

寄附

2月28日受付分まで
(敬称略・順不同)
奨学金制度の充実のため
100,000円
井上富紀子

広島女学院のため
100,000円
株式会社もみじ銀行

広島女学院大学のため
500,000円
株式会社

アポアエンジニアリング
大学教育充実のため
20,000円

有本 空玄
中高教育充実のため
20,000円

学校法人洋光学園
洋光幼稚園

前田 瑞枝
森脇 正樹

中村 紀子

沖田さやか
11,666円

新型コロナウイルス感染症
対策助成金
800,000円

独立行政法人
日本学生支援機構

